

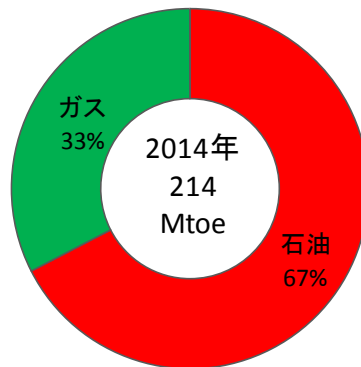
4-1 サウジアラビア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 214 百万 toe (日本の 0.48 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 6.91toe (日本の 1.99 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 292%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 506.6 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 42.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 16.40 CO₂ 換算 ton (日本の 175.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015年末) : 原油 60.8 年、天然ガス 78.2 年

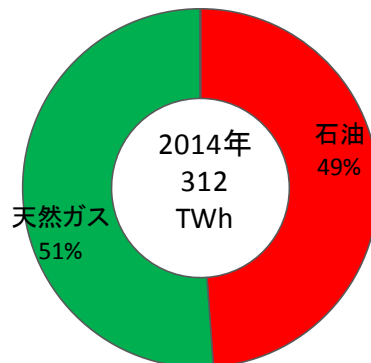
一次エネルギー供給構成 (2014年)



Country: Saudi Arabia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



Country: Saudi Arabia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Saudi Arabia

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		214 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		6.91 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.33 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		292 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		506.6 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		16.40 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	67 %
	天然ガス	67 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-192 %
(9) 石油の輸入依存度		-284 %
(10) 輸入原油の中東依存度		%
(11) 原油の輸出先	第1位	米国
	第2位	日本
	第3位	韓国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Blackwell, World Oil Trade : An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 経済開発評議会：2015年1月に設立された、石油・天然ガスを含む経済政策全般の意思決定機関。議長は Muhammad bin-Salman 副皇太子。
- エネルギー工業鉱物資源省：石油・天然ガス等の鉱物資源、電力、鉱業に関連した政策を策定し、OPEC 総会における Saudi Arabia の代表を務める。
- Saudi Aramco 最高評議会：2015年4月に設立され、国営石油会社 Saudi Aramco の監督機能を石油鉱物資源省から継承した。議長は Muhammad bin-Salman 副皇太子。
- Saudi Aramco：石油・天然ガスの開発、生産から精製・販売までの操業を行う。近年は石油化学分野や石油製品のトレーディングにも進出している。

(2) 基本政策

- 国家財政の多くを石油収入に依存しているため、国家財政の安定のために適切な石油価格の維持を目指している。高すぎる石油価格は需要の後退や新規供給の増加、代替エネルギーの開発促進などを引き起こすため、一貫して石油価格の安定化を志向している。
- 最近では、増加を続ける国内石油・天然ガス需要の抑制を図るための省エネ政策や代替エネルギー開発（再生可能エネルギー・原子力など）にも強い関心を示している。

(3) 最近の動向

- 2016年4月、石油依存型経済から脱却し、投資収益に基づく国家建設を目指す Vision 2030 が承認され、Saudi Aramco の5%未満の新規株式公開の計画も発表されている。
- 2016年5月、Salman 国王が大規模な省庁再編・人事異動を発表した。石油・鉱物資源省はエネルギー・工業・鉱物資源省に改称された。Naimi 石油・鉱物資源相は同ポストから解任され、Falih 前保健相がエネルギー・工業・鉱物資源相に任命された。
- 2016年6月、Vision 2030 を達成するため、2020年までの到達目標を示した「国家変革計画 2020」が承認された。
- 2016年10月、国際金融資本市場で初の国債発行を行い、175億ドルを調達した。
- 2016年11月、OPEC の減産合意に伴い、2017年1月から6ヵ月間平均で、1,055.4万 b/d から 48.6万 b/d 減産し、1,005.8万 b/d を生産する予定。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国の最大の原油輸入先である（113.6万 b/d、シェア 33.9%、2015年度）。
- 2016年7月、千代田化工建設は Saudi Aramco から Hasbah 海洋ガス田開発（Phase-2）に係る約16億ドルの建設等の業務を受注した。完成時期は2019年末とされている。
- 2016年12月、JOGMEC は Saudi Aramco と沖縄石油基地での原油タンク貸借等に係る更新契約を締結した。同社は3年間に亘り約100万 KL のタンク容量を利用出来る。